



疏水百選の塩沢堰

拡がる田園風景と苗代桜

実際に歩いた
立科小学校6年生

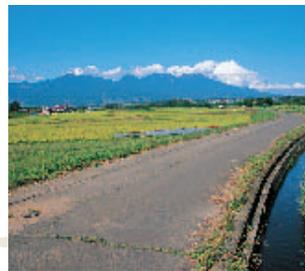
感想

「田んぼが一面に広がっていて、
農道の大切さを感じました。」



■新田原(通称)

江戸時代、六川長三郎勝家によって、約40.8kmに及ぶ堰(塩沢堰)が開削され、この地域に新田が開発された。



眺望スポット



水田地帯が
続きます



■苗代桜

六川長三郎勝家が新田開発事業の着手にあたり、紀州熊野権現に詣で大願成就を祈った折に持ち帰ったと伝えられている。田植えがすむと村人たちは、この桜の下で感謝の酒宴を催し、堰役人の引き継ぎを行った。現在は2代目が植樹されている。



- 宮ノ森公園 ▶ 苗代桜 ▶ 新田原(通称)
- ▶ 観音坂のおさんやさま
- ▶ 塩井 ▶ 諏訪神社 ▶ 宮ノ森公園

約5.8km

P WC P5台 WC (11月上旬~3月末閉鎖)